

ニューロ フォース バージョン2.0 200カプセル入り

バージョン2.1 200カプセル入り

ニューロ フォースは神経伝達物質レベルを高め、神経細胞間の情報の伝達がよりスムーズになるようデザインされたサプリメントで、摂取し続けることで認知・判断・行動の能力が改善し、運動選手であればパフォーマンスレベルの向上、サラリーマンや学生であれば記憶力、集中力などの向上が期待できます。ニューロ フォースの具体的な働きは次の通りです。

- 筋力・持久力を向上させたり、運動能力を改善させたりします。いくら筋肉内の燃料（グリコーゲン、ATP、クレアチンなど）が十分にあっても、運動をコントロールする信号が十分になれば筋肉は最高のパフォーマンスを発揮できません。
 - オーバートレーニングを予防したり、オーバートレーニングからの回復を促したりします。オーバートレーニングは筋肉の疲労よりも神経系の疲労によって起こる傾向にありますが、この原因の一つとして激しい運動による神経伝達物質レベルの慢性的な低下が挙げられます。
 - バーンアウトを防ぎ、やる気を持続させます。
 - 思考を明晰にし、集中力や記憶力を向上させます。
 - 食欲を抑制するノルアドレナリンレベルを高めたり、代謝をコントロールする甲状腺ホルモンの材料を供給することでマイルドにダイエットをサポートします。
 - 加齢に伴う成長ホルモンや性ホルモンの低下を抑えます。
 - ストレスホルモンによる筋肉の分解を抑えます。
 - 栄養素が細胞へ取り込まれたり、不要な老廃物が排出されるのを助けます。
- また、各成分の主な働きは次の通りです。

L-チロシン…アミノ酸の一種でドーパミン、ノルアドレナリン、アドレナリンといった神経伝達物質の生成に使われます。これらはカテコール基を持っていることからカテコールアミンと呼ばれていますが、脳のカテコールアミンの約90パーセントがチロシンから直接合成されています。アメリカでは鬱病や慢性疲労症候群の症状の緩和、ストレス状況下でのパフォーマンスレベルの低下の抑制などに利用されています。運動の1時間前に3グラムのチロシンとプラシーボのいずれかを飲ませたところ、チロシンを飲んだグループはプラシーボグループと比べて持久力で103パーセント、筋力で283パーセントの伸びが見られたという研究結果が発表されています。

ホスファチジルセリン…細胞膜を形成するリン脂質の一種で、脳の細胞膜のリン脂質の約10パーセントを占めています。ホスファチジルセリンは脳のエネルギー源であるブドウ糖の取り込みを促す、細胞膜を柔軟にして脳の神経細胞の樹状突起の変形を助ける、神経伝達物質の受け渡しをスムーズにするといった働きがあり、ホスファチジルセリンの摂取によって脳のα波、アセチルコリン、ドーパミンレベルが高まることがわかっています。また、ホスファチジルセリンには筋肉の分解を促すホルモンのコルチゾールおよびACTH（副腎皮質刺激ホルモン）の分泌を抑える、運動24時間後のクレアチンキナーゼレベルを低下させる、筋肉痛を軽減させるといった働きもあります。なお、ニューロフォースでは最も信頼性の高いホスファチジルセリンであるデグサ社のリパミンを使用しています。

L-フェニルアラニン…必須アミノ酸の一種で、チロシンに転換された後にカテコールアミンになります。チロシンそのものと比べて、肝臓でチロシンに転換される分のタイムラグが生じるので、若干のタイムリリース的な効果を期待できます。また、アンフェタミンに似た構造を持ち興奮作用のあるフェニルエチルアミンの直接の前駆物質でもあります。

ビンカマイナーエキス…ヒメツルニチニチソウから抽出されたエキスで、ビンカマイナーエキスの持つ作用のほとんどはビンカミンというインドールアルカロイドが担っているといわれています。ビンカマイナーエキスの摂取によって脳への血液の流れが改善し、より多くの酸素と栄養素が運び込まれたり、脳内でのATPの合成およびエネルギー生産（ATPの分解）が活性化します。また、ATPをcAMPに転換するアデニル酸シクラーゼが活性化すると同時にcAMPをAMPに転換するホスフォジエステラーゼが抑えられることでcAMPレベルが高まりますが、このcAMPレベルの増加はプロテインキナーゼを活性化させ、放出する神経伝達物質の量を増やします。さらに個別の

神経伝達物質については、アセチルコリンを分解するアセチルコリンエステラーゼを阻害したりアセチルコリン受容体の能力を改善することでアセチルコリンの利用率を高めたり、ノルアドレナリンのシナプスでの放出や再取り込みを向上させることでノルアドレナリンの利用率を高めることが確認されています。

イチョウ葉エキス・・・13種類のフラボノイドを含んでおり、血管の柔軟性を維持し、血液の循環を改善します。これは栄養素を各細胞に送り込むのに非常に重要です。また、過酸化脂質の生成を抑える抗酸化物質として働いたり、血小板を過剰に凝集させ血栓の原因を作ったりアレルギー症状を引き起こしたりするPAF（血小板活性因子）の働きを抑えたり、アセチルコリンレベルを高めたりします。さらに、イチョウ葉エキスの摂取によりα波（リラックスしながら集中している状態の脳波）が高まり、θ波（まどろんでいる状態の脳波）が低下することがわかっています。スロヴァキアで行われた研究では、イチョウ葉がストレスによる血圧の増加やコルチゾルの上昇を抑えることが確認されました。

ビタミンC、B群・・・神経伝達物質の合成と不要になった神経伝達物質の分解に必要なビタミン類です。

※バージョン2.1は運動前など一度に大量に摂取したい時でも安全で効果的に摂りいただけるように、2.0よりもビンカマイナーエキス、L-フェニルアラニンの量を減らし、逆にL-チロシンを増やした設計となっております。一日数回、こまめに分けて摂取する場合はバージョン2.0、特定の時間に大量に摂取する場合はバージョン2.1をお勧めいたします。

バージョン2.0

構成成分（1カプセルあたり）

L-チロシン.....	240mg
リパミンPS（ホスファチジルセリン18～22%）.....	100mg
L-フェニルアラニン.....	50mg
ビタミンC.....	30mg
イチョウ葉エキス.....	15mg
（総フラボン配糖体24%以上、総テルペンラクトン6%以上、ギンコール酸5ppm以下）	
ビンカマイナーエキス（ビンカミン98.5%以上）.....	10mg
ニコチン酸アミド.....	6.5mg
ビタミンB6.....	5mg
パントテン酸カルシウム.....	3.85mg
ビタミンB2.....	0.85mg
ビタミンB1.....	0.75mg
葉酸.....	50μg
ビタミンB12.....	3μg

その他の成分：被包剤（ゼラチン）、シヨ糖脂脂肪酸エステル、微粒二酸化ケイ素

バージョン2.1

構成成分（1カプセルあたり）

L-チロシン.....	282mg
リパミンPS（ホスファチジルセリン18～22%）.....	100mg
ビタミンC.....	30mg
L-フェニルアラニン.....	15mg
イチョウ葉エキス.....	15mg
（総フラボン配糖体24%以上、総テルペンラクトン6%以上、ギンコール酸5ppm以下）	
ニコチン酸アミド.....	6.5mg
ビタミンB6.....	5mg
パントテン酸カルシウム.....	3.85mg
ビンカマイナーエキス（ビンカミン98.5%以上）.....	3mg

ビタミンB 2.....	0.85mg
ビタミンB 1.....	0.75mg
葉酸.....	50μg
ビタミンB 1 2.....	3μg
その他の成分：被包剤（ゼラチン）、シヨ糖脂肪酸エステル、微粒二酸化ケイ素	

使用例：一日合計5～10カプセルを数回に分けてお摂りください（夜にお摂りになると睡眠が妨げられる可能性があります）最初は必ず一回1カプセルから始め、徐々に量を増やしていきご自身にとっての最適をお決めください。なお、このサプリメントを血圧に異常のある方、便秘の方がお摂りになると症状が悪化するおそれがありますのでご注意ください。